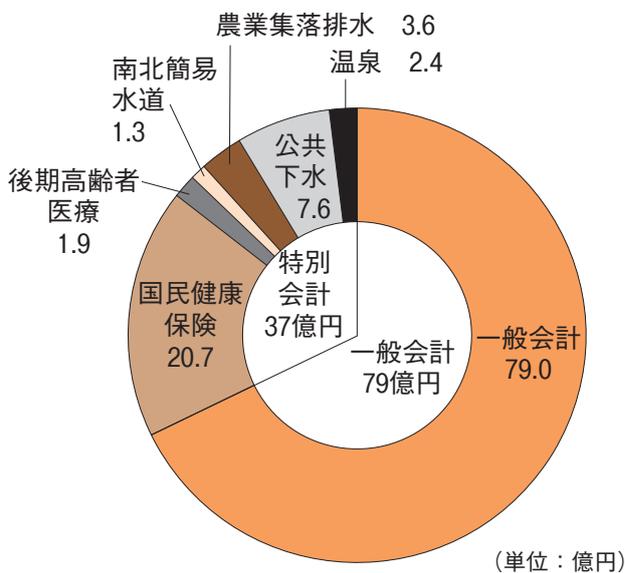


平成22年度 決算を認定

一般会計	歳入	84億5千万円	前年対比	8.2%増
	歳出	79億円	//	6.3%増
8 特別会計	歳入	38億2千万円	//	0.4%増
	歳出	37億4千万円	//	1.9%増
水道事業会計 (企業会計)	収益的収入	2億5千万円	//	1.0%減
	支出	1億8千万円	//	14.3%減

(千万円以下は四捨五入)

22年度の一般会計・特別会計の歳出



今議会の内容

- ・ 22年度決算の認定10件
 - ・ 23年度補正予算 7件
 - ・ 人事案件 3件
 - ・ 条例・規約の改正 2件
 - ・ 報告 2件、コミバス購入契約
- いずれも賛成多数で原案可決

決算とは

- ・ 会計年度が終わってから作成される。
- ・ 監査委員の審査を受ける。終わりに議会の認定を経て確定する。
- ・ ここで、実際の収支状況が明らかとなり、予算が適正に執行されたかを確認する。
- ・ 決算で町の一年間の仕事を検証する。

監査委員の意見

- ・ どの会計もよく整理され、適正であった。
- ・ 道の駅は単に「開業した」に止まらず、東西から訪れる多くの観光客で賑わうような運営を期待する。
- ・ 「福祉」は手厚くすれば喜ばれるが、当然限界があり、厳しく注視し決断する必要がある。特に、揖斐郡3町が支援し共同経営している揖斐広域連合の介護関連予算は、55.5億円に達し、高齢化の進む中、さらに増加すると考えられる。
- ・ 引き続き健全な財政運営に努められたい。

人事案件

- 町教育委員
長谷川貴志 池野 昭和25年生
松原 豊さん 退任のため
- 町固定資産評価審査委員
森 廣幸 六之井 昭和25年生
再任
- 人権擁護委員
野原 昭弥 池野 昭和31年生
1名増員のため